



国際ロータリー第 2620 地区(静岡・山梨)
米山記念奨学生学友会

会報 Vol.12 2020-21 年度



写真提供: ウォン スー ニー会員

2021 年 5 月発行

目 次

(敬称略)

- 1、アフター・コロナの日々をめざして (会長あいさつ) 上野 佳子
- 2、「旅」に寄せて (ガバナー寄稿) 志田 洪顯
- 3、臥竜鳳雛—大地に臥す若者よ 天空に駆け上れ (委員長寄稿) 石井 大介
- 4、コロナ禍の中で、体験・チャレンジ・感謝
 - 海外出張と PCR 検査の体験 青山 チャリット
 - ヒトに・環境に～Care を届ける アウリア アルファラビ アネスティア
 - 米山奨学生になって良かった！ 唐 丹
 - 「オンライン授業」の体験から 宋 寅彰
 - 米山奨学生になって得た宝もの 余 楽
 - 修士論文と生け花に打ち込んで 栞 軼遠
 - 感染拡大の中 自らを鍛える 柯 嶸鑫
 - コロナ禍の中で三味線にチャレンジ ファム ゴック アン
 - 大学院進学をめざして 王 騫
- 5、2020-21 年度 学友会理事役員一覧
- 6、今年度の記録 (写真)
- 7、2020-21 年度 期間終了した米山奨学生一覧
- 8、2021-22 年度 新規・継続米山奨学生一覧
- 9、2021-22 年度 主な行事予定

表紙写真：ウォン スー ニー (マレーシア出身 1995-96/鈴鹿西 RC)

1. アフター・コロナの日々をめざして

米山学友会長

上野 佳子（中国出身 2000-02/東京臨海東 RC）



「学友会会報第12号」を無事お届けできることに安堵しております。

本年度もコロナ禍の猛威が日本中に広がった一年でした。振り返ってみますと、地区役員や米山委員会の皆さまの計らいで、昨年7月5日の通常総会が無事開催できたことで、良いスタートになりました。そして新奨学生歓迎会を山梨県と静岡県中東部・西部の3会場で8月上旬に分散開催を企画していましたが、その後、地域のコロナ感染状況から、静岡県西部は無期限延期となりました。また5年連続実施されていた9月の柿田川清掃奉仕行事もやむを得ず中止に至りました。今年6月中旬、台北で開催予定の第三回米山学友世界大会「出会い in 台湾」も見送りになり本当に残念でした。

このような状況の中でこの「会報」の発行に当たって、現役奨学生や学友会員に原稿や写真を広く募集し、「米山奨学生になって良かったこと」や「ロータリアンとの交流で楽しかったこと」「コロナ禍の中でチャレンジしていること」「この一年で特に印象に残った体験」などのテーマで原稿を寄せて頂きました。おかげさまで、前向きな姿勢、感謝の気持ちが溢れる誌面にな

りました。なかには、コロナ禍の中でも三味線や生け花など日本の伝統文化を学んだ日々を綴った方もいて感心しました。

また、志田洪顯ガバナー、石井大介地区米山記念奨学委員長にはご多忙の中、ご寄稿を頂きまして厚く御礼申し上げます。皆様のおかげで、今年度も充実した誌面の「会報」を発行することができました。

個人的には、4月10日に東京で開催されたロータリー2580地区の「第二回学友の集い」に出席し、また5月9日にはマレーシア米山学友会主催の「弘前りんご花まつりのバーチャルツアー」と15日のタイ米山学友会総会にリモート参加しました。国内外のロータリアンや米山学友、奨学生の皆様と交流することで良い刺激をうけることができました。

学友や奨学生の皆さんも様々な制約の中、健康の保持に気をつけて、アフター・コロナでの活躍に備えましょう。また皆様とお会いできる日を楽しみにしております。



外出自粛の中で趣味の刺繍（クロスステッチ）に没頭しました。

2.「旅」に寄せて

地区ガバナー

志田 洪顯（静岡ロータリークラブ）



私は旅をよくします。旅行と言うほどのものではありません。観光旅行はまずしません。できません。昔から、どれも、何かの用事、仕事のついでの旅です。

最近、ここ10年はほとんどロータリーのついでです。これは旅ですか？仕事でしょ、とも言われます。仕事だけで行って帰っては嫌いです。必ずその地の楽しみを探します。ロータリーは仕事ですか？奉仕の仕事でしょ、いや旅なのです。ロータリーガバナーのクラブ訪問、委員会出席は仕事ですか？違う！遊びですか？違う！各地のロータリー、みな多様なクラブです、驚くほど個性的で、多様で、恐らくあくの強い人、立派な人とお会いするのがロータリーの行脚の旅です。ガバナーなどと威張っていたら、必ずやり込められます、その地で、認められた人がロータリアンですから恐ろしい、だからまた楽しい。必ずその土地の自慢が話題になります。ただ説明に感動しても意味はありません、無関心、ノーコメントはましてや悪い、失礼になります。そうです、各地のロータリーを訪問するのは旅です。どのクラブも地域の歴史を背負っています。それを味わいます。

人間が一番好きです。地理が好きです、自然も好きです、田舎育ちですから。歴史も好きです、三国志、史記、漢書、リヒトフォーヘン

「さまよえる湖」西域探検記が学生時代の愛読書でしたから。学部は電気工学でしたけど。

30代からの全国PTA活動で、商売である魚市場や水産基地の取引先訪問でも、名所旧跡にも行きますが、必ずおいしいお店にいきました。イタリアンやフレンチではありません、地元の昔なじみの好むようなお店を探します。お店調査は旅事前準備のマストです。鉄道、バス、レンタカーの乗り継ぎ精査が重要で、日程時間調整はそれによります。レンタカーは名所めぐりに必須です。与論、波照間、八重山、沖縄、鹿児島、熊本、長崎、博多、、函館、札幌、釧路、網走、稚内、利尻・礼文まで。天文館の森進一出世のラーメン屋、礼文のフェリー乗り場

の鮭屋での山盛りうに丼の礼文ロータリー特別歓迎例会、など書き始めたら止まりません。山梨県は海なし県です。そこでお決まり行きつけの鮭屋春日鮭を選び出し、お店で親方相手の甲府の人物談義を始めます。ああそうだ、昔、福井の一見の鮭屋で親方から、うちの奥さんの実家過去帳のお寺の話題から、なんと福井地震で引っ越したお寺・乗国寺を探し出し、京都市陽在住の500年前の酒井左衛門尉忠次・酒井将監家に繋がる親戚を探し出すきっかけをつかみました。今でも賀状の交換を続けています。

国内各地の訪問がほとんどですが、ロータリーのお蔭で海外も増えました。カリフォルニアのパロアルト・サンディエゴ、リスボン・北スペイン、メルボルン・シドニー、トロント・ナイアガラ、ライン・ケルン・フランクフルト。どれだけ外国語を話せたら、と思うことか、英語さえ片言です。個人旅行が基本ですから、やむを得ず一丁前に英語で文句も言うし、意思表示はしますが、相手の心持をうかがい気遣うことまではできません。残念です。世界中の人と心を合わせられる時代が来たらいいのに、翻訳機の到来は夢ではない！期待しています。若い皆様の中から、翻訳アプリの開発者が出てくることを期待しています。米山記念奨学生！資格ある！多様な人物、国籍、人格。翻訳プログラムをみんなで！

コロナ禍でホノルル・台北の国際大会は中止、来年はヒューストンとか。アトランタをキャンセルしたからテキサスには行きたい、収まれコロナ！オクラホマ大教授だった静高同級生森田信夫はプール付きの家に住んでいたとか、今はもっと豪邸なのか、楽しみだ。

台北、上海、杭州、紹興、蘇州、北京・長城、丹東、は何度か行ったが、成都、赤壁の戦場、曲阜、泰山、邯鄲、長安、新疆・敦煌・タクラマカンに行きたい。

歳、もう無理か！

まだまだ。

3. 臥竜鳳雛——大地に臥す若者よ 天空に駆け上れ

地区米山記念奨学委員長

石井 大介（静岡ロータリークラブ）



2020年1月より始まった世界的な新型コロナウイルス感染、緊急事態宣言などの影響を色濃く受け、三密を前提に7月の年度開始から奨学生と学友会の皆様には、これまでとは全く違った年度計画と活動になりました。7月委員会と学友会総会は御殿場の時の栖にて開催したものの8月米山セミナー、9月柿田川清掃、10月奨学生・カウンセラー研究会は中止、11月面接官オリエンテーションと12月の面接選考試験は山梨県立図書館・グランドホテル浜松・米山記念館の3会場で分散開催。3月の終了式は各世話クラブ例会で修了証、記念品など贈呈の個別開催としました。4月の新奨学生と世話クラブカウンセラーの対面式もズームを使用して前記同様の3会場での開催となりました。

奨学生と学友会、世話クラブ、カウンセラーの皆様には例会の開催、奨学金の贈呈、恒例のクラブ行事等において、大変なご苦勞をお掛けしたこととに対し深く感謝しています。

私自身も感染の危機に直面し、この1年間県外に出たことは一度もありませんでした。

そんな狭い活動の範囲で、私が感激した2例を紹介させていただきます。

日大三島4年生の奨学生オウ ケン君は2020年4月から沼津北RCを世話クラブでスタートしましたが、「大塩カウンセラーから素晴らしい奨学生で来年は大学院に進学したい希望があるのでクラブ支援奨学生として米山奨学会に推薦頂けないだろうか」との相談を受けました。2620地区ではこれまでクラブ支援受け入れの経験はなく、毎年、奨学会に受け入れはしないとの書面を出していました。沼津北クラブ直接に数度の米山奨学会との交渉で、いや大塩カウンセラーの情熱が奨学会を動かしたのだと思います。地区

米山委員会と現在の地区内世話クラブの承認を得ることが条件で応募を受け付けてくれました。12月再度の面接試験を突破し4月より日大大学院生として新たな一步を踏み出しています。

もう一人は静岡英和学院4年生のパッタメストゥリゲ シヤマラ マノン ペレーラさんです。選考試験後の奨学生決定の折、選考委員3人の意見が割れました。その時は次年度委員長の私の意見が優先され、他の候補者を私は選出し、当時の影山委員長に米山奨学生の選考決定の報告をしました。その後ガバナーエレクトから女子奨学生が少ないので、マノンさんに切り替えるよう要望が出て、米山奨学会への回答ぎりぎり彼女に変更して影山委員長に大いに叱られました。彼女は4月より富士RCを世話クラブ、岸本会長カウンセラーと会員皆様から熱い指導を受けたようです。添付の写真は3月終了式例会の様です。会員から頂いた着物に袖を通し、就職試験も多くに合格し、これも会員の皆様に相談して決めたとのことでした。会長始め、女性会員が着付けからタクシー送迎までして頂きとても感激していました。

卒業、進学、就職、帰国、この一年をコロナ禍と共にした奨学生の皆様、米山奨学会の設立の使命＝将来、日本と世界を結ぶ懸け橋となって国際社会で活躍し、ロータリー運動のよき理解者に成長する事を、切に切に願っています。



マノンさんの奨学期間終了式。左はクラブ会長岸本泰次カウンセラー

4. コロナ禍の中で 体験・チャレンジ・感謝

海外出張と PCR 検査の体験

青山 チャリット

(スリランカ出身 2006-08/静岡日本平 RC)

2020 年はコロナで始まってコロナで終わった一年だったが、その中で一番印象に残ったのはコロナ禍の中での海外出張でした。新型コロナウイルスが世界中に大流行し始めてから、海外往来が大変厳しくなっているのは皆さんもご存知の通りかと思います。仮に海外へ渡航した場合は現地入国後又は日本に再入国してから検疫対策として隔離期間を設けなければなりません。この隔離期間は国によって様々ですが、場合によっては隔離期間だけで一ヶ月間ほどかかってしまいます。このような好況下で、夏休みに一時帰国したくても出来なかった奨学生も多数いたかと思います。

私は仕事柄で海外出張は多い方ですが、コロナ禍での海外出張は格別でした。出国する時は空港の中の活気がほとんどなく、人もまばらで、免税店とかもほとんど閉まっていた、今まで見たこともない異常な光景でした。行きも帰りも飛行機の乗客は20人程度で乗る側からだとても快適だったが、飛行機は運航すればするほど大赤字という印象でした。やはり一番苦痛だったのは隔離期間であって、私の場合は現地1週間、帰国後2週間とPCR検査は計3回でした。日本及び渡航先の水際対策と個人の感染対策の徹底でコロナに感染することなく出張を終えることが出来ましたが、感染者が多い国に行ってきただけで、周りからコロナ差別を受けたことは少しショックでした。

世界的にもこのようなパンデミックは100年に一度ぐらいしか経験出来ないものであって、そのような状況下での海外出張は良い経験となりました。コロナが完全に収束して、普通に海外

往来ができる日が来るのが待ち遠しいです。



ガラガラの機内にて

ヒトに・環境に～Care を届ける

アウリア アルファラビ アネスティア

(インドネシア出身 2019-20/静岡西 RC)

現役の頃、暖かい夏の風が吹く前に、ロータリアンと一緒に孤児院ホームでイベントに参加しました。子供たちが笑顔になるようにピエロも来てくれて、大人と子供の壁を越え、一緒に楽しい時間を過ごしました。キャラクターバルーンを作ったり、皿回しをしたり、絵を描いたり、他の言語を習ったり等々、大変盛り上がりました。それだけでなく、小学校では Science Fair を行う等、子供たちを少しでも勉強しながら楽しませるよう、心を込めてロータリアンがたくさんのイベントを行ないました。

その後、涼しい秋の風が吹いていると共に、今度はロータリアンと一緒にボランティア活動を！

“End Polio Now” をスローガンに、ポリオを撲滅するためのボランティア活動でした。世界中にポリオのケースは99%減少していますが、アフガニスタンやパキスタンにはいくつかのケースがまだ見つかっているそうです。その99%が100%になるために、市民にポリオに対しての awareness を高め、ロータリアンがこのボランテ

ィア活動を行なっているのです。

さらに、森づくり・大谷崩の植樹にも参加しました。段ボールで作られたポットを使い、濡らした新聞紙をそこにに入れて水分保管のための工夫もしました。もともと植樹が難しい場所でしたが、毎年毎年ロータリアンが諦めずに植樹を続けています。森林再生だけでなく、地すべりの対策としてずっと実施しているということを知り、大変感動しました。

ヒトを支えるためだけでなく、環境も支えるという印象が強く残り、立派な活動だと思っています。

一年間で奨学生の期間が終わりましたが、たくさんの意味のある楽しいイベントに参加し、たくさんの思い出ができ、何よりだと思っています。静岡西ロータリークラブの皆様、楽しさいっぱいの一年、どうもありがとうございました！



米山奨学生になって良かった！

唐 丹 トウタン

(中国出身 2019-21/沼津西 RC)

2019年に米山奨学生に選ばれ、沼津西ロータリークラブにて2年間お世話になりました。奨学生になって良かったことが山ほどあるが、自分にとって一番大きな変化を三つ挙げたいです。

一つ目は環境保護への関心です。奨学生になってから、千本浜清掃や柿田川清掃などの活動に参加でき、ゴミ分別・リサイクルの重要性と外来種生物の危険性を再認識しました。こんな小

さな自分でも、この大きな地球に少しでも力を奉獻できると実感し、環境への関心がより深まり、環境保護のために努力したい気持ちがより強くなりました。

二つ目は人への関心です。ポリオ募金活動に参加する際に、ロータリアンの皆様が子供のために頑張る様子を見て、いつか自分も他人のために役に立てたらと感心しました。また、ロータリアンの皆様は家族のように、お互いを敬愛し親睦を重視しています。自分も沼津西ロータリークラブにて沢山お世話になっており、常に温かさを感じ、心より感謝しております。

三つ目は前向きの姿勢と社会奉仕の精神です。ロータリアンの皆様がどんなことにあっても、意気を挫けずに前を向いてコツコツと努力し、社会奉仕を考えていらっしゃる姿に感動しております。

将来、自分も米山学友会の一員として、感謝の気持ちを込め、ぜひ社会と世界に役立つ人間になりたいと考えております。



4月の送別会にて（左は鈴木和憲カウンセラー、右は植松正クラブ会長）

「オンライン授業」の体験から

宋 寅彰 ソン インチャン

(韓国出身 2020-21/山梨 RC)

ロータリー米山記念奨学会の奨学生になってからあつというまに一年が過ぎました。この一年間は今までなかったコロナ禍という特殊な状況の中で過ごしてきた時間だったので、いつもとは違う日常生活を経験することができました。

その中で最も印象に残ったことは学校のオンライン授業でした。いつも学校に行って先生と対面で話し合うことが当たり前だと思っていましたが、コロナ禍になってからオンラインで授業を行うということを聞いて、果たして授業を上手く進めるかという心配がありました。しかし、初めてオンライン授業を受けた日、そういう心配はすぐになりました。対面で授業を受けることとあまり違いを感じられないほど、先生たちが変わらずに親切で優しく教えて下さったからです。

もちろん、たまにネットワークの状態が悪くなって授業を受けられなかったり、対面よりは集中できなかったりすることもあったものの、それでも先生が皆、熱情的に学生たちに教えようとして下さったおかげで対面授業とあまり変わらない質の授業を受けることができました。この一年間だけではなく、これまでの経験の中でオンライン授業を受けることは一生記憶に残る特別な経験だったのではないかと思います。しかし、オンライン授業も悪くはないが、そろそろコロナ禍が終わって元の生活に戻り、後輩たちとまた賑やかな学校の生活を楽しめるように願っています。



山梨市の高木晴雄市長(右)とのツーショット



クラブ例会にて(右が田村浩会長、左が藤原久雄カウンセラー)

米山奨学生になって得た宝もの

余 楽 ヨ ラ ク

(中国出身 2019-21/都留 RC)

月日が経つのは早いです。2019年4月米山奨学生に合格してから、あっという間に2年間が経ちました。今年の3月をもって、米山奨学生を期間終了し、米山学友になって東京で新しい生活を始めました。

この2年間、いつも「自分は米山奨学生になって本当に良かった」と思っています。奨学生生活を振り返ると、非常に充実し有意義で、貴重な思い出が残りました。米山奨学生になったことで、他の国から来た多くの留学生と接することができ、多様な文化を理解する機会を得ました。皆さんとの交流で、今まで全く知らなかったことを理解するようになり、知識が蓄積されました。それで、自分の考え方、世界を認識する姿勢も少しずつ変わってきました。皆さんのおかげで自分は成長してきたと感じています。また、都留 RC の例会に参加することで、人と交流する能力が鍛えられました。2019年5月、世話クラブの方々と一緒に「世界の宝を後世に」がテーマの IM 会議に出席しました。この会議により、富士山が世界文化遺産である価値、また富士山の保護についての課題などを学びました。そして、都留での「八朔祭」などの多様な活動に参加することで、自分の視野が広くなり、これらの伝統行事は、伝承を共有し、地元の人々のつながりを深める役割を持つことが分かりました。とくに11月4日に、浜松での地区大会に参加した時には、初めてこのような多人数、大規模の会議に参加することができ、非常に興奮して感動しました。この地区大会では、他の奨学生と交流し意見交換することもできました。自分は米山奨学生であることがとても誇らしいことを改めて意識しました。加えて、ホームカミングの元奨学生の素晴らしいスピーチを聞くことで、現役の奨学生としての努力も必要だと考えました。

2020年は特別な、少し困った一年になりました

た。この一年間はコロナの影響により、都留 RC の例会と他のイベントは中止になることが多かったのです。地区や学友会の行事もほぼ見送りになってしまいました。これは私にとって、とても残念なことでした。

これまでロータリー米山の諸活動で勉強し体験したことは私にとって忘れられない思い出であり、とても貴重な財産です。ロータリアンや米山学友会の皆様と出会って得た優しい心と笑顔を一生忘れずに、奉仕の精神を銘記し、感謝の気持ちを持って生きていきたいです。



上野学友会長（右）と故郷の料理を堪能

修士論文と生け花に打ち込んで

栞 軼遠 ナン イチエン

（中国出身 2020-21/焼津 RC）

私は 2020 年に米山奨学生になったが、この一年は私にとって特別な 1 年でした。新型コロナウイルスが原因で、世界中にいろいろな影響がありました。みんなの生活が大変になったという時に恵まれて、米山奨学生になりました。奨学生になったことは私の人生の重要な栄誉になったことだけでなく、他の面でも進歩することができました。

まずは奨学金のおかげで、私は自分の修士論文に専念することができました。そして、一年間の研究を経て、私の修論は静岡県立大学経営情報イノベーション研究科の優秀論文に選ばれました。この成果はロータリー米山からの支援と切り離せないものです。また、世話クラブの例会

卓話で、私の夢は、日本の生け花を学ぶことを通じて、日本と中国の架け橋になりたい事だと話しました。でも、生け花を学ぶには高額な費用がかかったので、辞めたいと思ったことがありました。しかし、米山からの経済的なサポートで、生け花を学ぶことが続けられました。今は小原流の四級家元教授という資格を持っています。中国で生け花教室を開きたいし、多くの中国人に日本の生け花の魅力を知ってもらいたいと思います。米山からの応援のおかげで、自分の夢に一步近づいて、米山奨学生になって良かったと思います。

経済的な支援だけでなく、米山奨学生になったことは光栄だと思います。会長から奨学金を受け取るたびに、自分には「頑張らなければいけない」という使命感があり、その使命感が私を成長させてくれた。これからもずっと米山奨学生の経験を誇りにして、自分の人生を輝かせたいと思っています。



工場見学

感染拡大の中 自らを鍛える

柯 嶸鑫 カ エイシン

（中国出身 2020-21/静岡中央 RC）

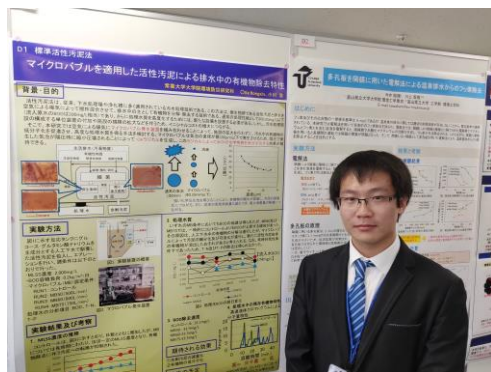
2020 年、常葉大学大学院環境防災研究科修士課程在学中に、米山記念奨学生としてお世話になりました。

2020 年は爆発した新型コロナウイルス感染症で、世界中が大変な状態になり、自分の研究と日常生活も影響を受けた。この大変な時期で、コロナ感染症拡大防止のため、ロータリークラブの活動が行なわれないようになったため、自分は

クラブ例会に2回しか出席できなかった。他の方々との交流ができなくなったのは少し残念だが、米山奨学金と世話クラブのサポートのおかげで、修士課程の研究と修士論文を無事に完成でき、特殊な時期に、アルバイトしなくても学習生活が続けられ、さらに、勉強・研究に集中できるようになった。そのため、修士学位を取得したばかりではなく、東北大学大学院工学研究科土木工学専攻博士課程にも合格しました。

世話クラブの小澤行雄カウンセラーと久保田さんなどの皆様は親切に自分の生活の隅から隅まで関心をもって来て、博士課程の合格発表を待つ時にも親身になって心配して下さいました。大変な時期にご支援を頂き、心から感謝いたします。米山奨学生になって本当に良かった！

静岡中央RCの方々と離れるのは寂しくなったが、これから自分も米山学友として、ロータリーの精神を忘れずに胸を張って前に進む。



2019年11月中部支部水環境学会発表

コロナ禍の中で三味線にチャレンジ

ファム ゴック アン

(ベトナム出身 2020-21/浜松南RC)

今年度はコロナ禍の影響で、私が所属している浜松南ロータリークラブでは多くのイベントなどが中止になっていました。そんな厳しい状況の中でも、世話クラブ前幹事の松永俊行さんに「三味線を始めてみませんか？」と誘っていただきました。私はギターを弾くのが趣味で、和楽にも挑戦してみたいと考えたため、勉強が忙しくなる三年生ですが、これは日本の文化を知る

絶好のチャンスだと思い、三味線を習い始めました。そして九月から毎月2回、週末に、松永さんと磐田市立中泉交流センターで、コロナ感染症の対策をしながら加藤流三弦道の加藤訓音先生の津軽三味線教室に参加しました。先生と松永さんには三味線の技術指導以外にも、三味線の歴史や種類など三味線に関する多くのことを教えて頂き、とても勉強になりました。しかし、教室の時間が一時間と短かったので、毎週例会後の2時間くらい、世話クラブの松永さんと木村正明さんから指導を得て練習し、家でも毎日練習を続けていました。最初は撥の持ち方や弾き方など大変な事もたくさんあって、なかなか綺麗な音を出せませんでした。4ヵ月間の練習を重ねて、1月の年頭例会で着物を着て演奏を披露しました。短く簡単な曲でしたが、先生と皆さんからたくさんの拍手と褒め言葉をもらいました。今回、三味線を練習した時間は短かったですが、三味線の独特で綺麗な音が大好きで、和楽の美しさも感じられました。コロナ禍の厳しい状況の中でも日本の文化にふれるチャンスを得てとても良かった。将来、またこのような日本の文化を学ぶ機会を楽しみにしています。



年頭例会にて（右が松永さん、左が木村さん）

大学院進学をめざして

王 騫 オウ ケン

(中国出身 2020-21/沼津北RC)

日本大学国際関係学部四年生の王騫と申します。私は昨年の4月から正式にロータリー米山奨学生になり、沼津北ロータリークラブに所属

するようになりました。この一年間、私は世話クラブの沼津北ロータリークラブと米山学友会のお世話になりました。

まず私がロータリー米山奨学生になって最も良かったことは、コロナウイルスの原因で帰国できないという心理的な困難に直面する私がロータリーから応援と励ましを得て自分の学業目標を達成できたことです。毎月の奨学金の受給によって私の留学生活が支えられることはもちろん、ロータリアンと学友会の皆様が誰よりも文化の違う留学生の私に文化の理解と応援を与えてくださっています。このようにロータリーに応援されている私は日本に留学して良かったと思っております。そして、ロータリアンと学友会の皆様のおかげで、コロナ禍における留学生活の中で、様々な困難を乗り越え、大学院進学などの目標達成を成し遂げました。

ロータリークラブの皆様と米山学友会の先輩たちに大変感謝しております。特に私のカウ

セラーである大塩秀樹さんに感謝したいと思います。大塩さんは普段お仕事の関係で多忙とはいうものの、奨学生である私の留学生活やロータリー活動参加などが順調に進むために色々助けてくださっていました。ご面倒をおかけして心より感謝いたします。これからも学業優秀な大学院生になることを目指し、中国と日本の架け橋として両国の友好関係を促進できるように努力したいと思います。



新たにクラブ支援奨学生として(左は横山貞治会長、右は大塩秀樹カウンセラー)

～*～*～*～*～*～*～*～*～*～*～*～*～

5. 2020-21 年度 学友会理事役員

役職	氏名 (出身国/世話クラブ)
会 長	上野 佳子 (中国/東京臨海東 RC)
副会長	青山 チャリット (スリランカ/静岡日本平 RC)
理 事	ラシタ アサンカ エリヤーワ (スリランカ/甲府南 RC)
	林 双 (リン ソウ、中国/掛川グリーン RC、会計兼)
	鄭 清楷 (テイ セイカイ、中国/静岡南 RC)
	金 相均 (キム サンキュン、韓国/静岡 RC)
	烏徳巴拉 (ウデバラ、中国/清水 RC)
監 事	鐘 佑希 (ショウ ユウキ、中国/甲府 RC)
	川口 尚史 (沼津柿田川 RC)

6. 今年度の記録（写真）



(1)	(2)	
(3)	(4)	
(5)	(6)	(7)
(8)		

(1)～(4) 第12期総会と懇親会 in 御殿場時之栖
(2020年7月5日)

(5)～(8) 新奨学生歓迎会 (8月上旬、甲府会場/静岡会場)



(9)	(10)	
(11)	(12)	(13)
(14)	(15)	(16)
(17)	(18)	(19)
(20)	(21)	

(9)～(10) 3月、(分散実施) 世話クラブの例会にて奨学生の期間終了式
 (11)～(21) 4月、(分散実施) 新奨学生とカウンセラー・オリエンテーション

7. 2020-21 年度 期間終了した米山奨学生一覧

(奨学生番号順、2020 年 9 月終了生含む)

氏 名	国籍	日本国内居住地	世話クラブ
車 旼庭 (チャ ミンジョン)	韓国		甲府
王 利 (オウ リ)	中国		清水北
ポカレル ディネシュ	ネパール	千葉県	静岡
サイ ピョー ミエン マオ	ミャンマー	静岡県	パワー浜松
マイ クアン リン	ベトナム	千葉県	浜松中
トラン シュアン チュウ	ベトナム	静岡県	掛川グリーン
余 楽 (ヨ ラク)	中国	東京都	都留
唐 丹 (トウ タン)	中国		沼津西
ジェイン ディヴィヤヌ	インド		浜松西
宋 寅彰 (ソン インチャン)	韓国		山梨
チャン ブイ ミン クィン	ベトナム	東京都	笛吹
楊 昕 (ヨウ キン)	中国		甲府西
郭 穎 (カク エイ)	中国	山梨県	甲斐の郷
柯 嶸鑫 (カ エイシン)	中国	宮城県	静岡中央
パッタメストゥリゲ, シヤマラ マノン ペレーラ	スリランカ	静岡県	富士
栞 軼遠 (ナン イチエン)	中国		焼津
チャン ミー デュエン	ベトナム	静岡県	磐田
ラハマン, モハマド モスタピズル	バングラデシュ	静岡県	静岡
嵯 儷 (ケイ レイ)	中国	静岡県	浜松
陳 彦東 (チン ゲントウ)	中国	愛知県	袋井
王 騫 (オウ ケン)	中国	静岡県	沼津北



8. 2021-22 年度 継続・新規米山記念奨学生一覧

(奨学生番号順)

氏 名	国籍	世話クラブ
レー チュオン ロク	ベトナム	甲府南
ファム ゴック アン	ベトナム	浜松南
王 騫 (オウ ケン)	中国	沼津北
ハサン エムディー マフムデュル	バングラデシュ	浜松中
崔 成烈 (チェ ソンリョル)	韓国	甲斐
董 清崙 (トウ セイギン)	中国	笛吹
王 怡淵 (オウ イエン)	中国	甲府東
方 子欣 (ホウ シキン)	台湾	甲府北
辛 飛揚 (シン ヒョウ)	中国	甲府
掲 姍姍 (ジェ シャンシン)	中国	山梨
オン シハン	マレーシア	南アルプス
陳 吉天 (チン キツテン)	中国	浜松中
王 雪艷 (オウ セツエン)	中国	長泉
ジョセリン ネオ ワン ティン	マレーシア	静岡
李 重楼 (リ ジュウロウ)	中国	静岡西
グエン ティー アン ダオ	ベトナム	沼津西
フィン タン ティ	ベトナム	藤枝
パタンドゥング, スミルナ ウィラワンティ	インドネシア	富士
何 婷 (カ テイ)	中国	静岡北
ゴ ズン バン	ベトナム	浜松ハーモニー
彭 有興 (ペン ユウシン)	中国	浜松南
許 允碩 (ホ ユンソク)	韓国	袋井
房 峻賢 (ファーン ジュインシェン)	台湾	掛川グリーン
陳 俊達 (チン シュンタツ)	中国	パワー浜松
マドマン ソピダ	タイ	沼津
孫 浩波 (ソン コウハ)	中国	伊東西
張 弛 (チョウ チ)	中国	浜松西

9. 2021-22 年度 主な行事予定

行事内容	実施予定日	場所
第 13 期通常総会	2021 年 7 月 4 日 (日)	静岡市
柿田川湧水地清掃	2021 年 9 月 4 日 (土)	柿田川湧水公園
米山奨学生・カウンセラー研修会	2021 年 10 月 10 日 (日)	米山梅吉記念館
米山奨学生期間終了式	2022 年 3 月 6 日 (日)	米山梅吉記念館
新米山奨学生・カウンセラー研修会	2022 年 4 月 3 日 (日)	米山梅吉記念館
米山ナイト	2022 年 5 月 21 日 (土)	甲府市
地区大会	2022 年 5 月 22 日 (日)	甲府市



2021-22 年度地区ロゴ



国際ロータリー第2620地区
Shizuoka Yamanashi
米 山 学 友 会



事務局： 〒411-0941
静岡県駿東郡長泉町上土狩 346-1
公益財団法人 米山梅吉記念館 内
Tel : 055-986-2946
Fax : 055-989-5101

メールアドレス yoneyama2620@gmail.com

フェイスブック <http://www.facebook.com/Ry2620>

